ねんきんだより Pensions News

国民年金保険料は期限内に

令和６年４月分から令和７年３月分までの国民年金保険料は、月額１６，９８０円です。保険料は、日本年金機構から送られる納付書により、金融機関・郵便局・コンビニで納めることができます。また、クレジットカードやインターネットを利用しての納付、便利でお得な口座振替もあります。

日本年金機構では、国民年金保険料を納付期限までに納めていない場合、電話、書面、面談により早期納付を促しています。未納のまま放置されると、強制徴収の手続きによって督促を行い、指定された期限までに納付が無い場合は、延滞金が課されるだけでなく、財産を差し押さえることがありますので、早めの納付をお願いします。

所得が低いなどで納付が困難な場合は、免除や猶予される制度がありますので、年金事務所や町役場の国民年金窓口へご相談してください。

※納付義務者は、被保険者本人、連帯して納付する義務を負う配偶者および世帯主になります。

問合せ　太田年金事務所 ☎４９－３７１６

果実加工品の通販サイトに注意！

【事例１】

ＳＮＳで広告を見たサイトで国産のドライいちごを注文したが、届いた商品は外国産で粒も広告に比べて小さかった。業者に電話をしたが繋がらない。（６０歳代）

【事例２】

ＳＮＳで広告を見たサイトで国内の有名店の国産干し柿が６割引きで出ていたので注文した。代引きで届いたが、中身は外国産の偽物だった。（７０歳代）

【ひとこと助言】

通販サイトで国産果実を使用した加工品を注文したが、届いた商品が外国産だったなどという相談が寄せられています。このようなサイトは、商品の産地を偽る悪質サイトの可能性があります。

支払ってしまうと返金は非常に困難です。サイト内に販売業者の所在地や連絡先が表示されているか、価格が異常に安くないか、日本語が不自然でないかなどに注意しましょう。

支払いが代引きの場合、送り状の「依頼人」を確認し、注文した販売業者と違ったり、不審な点がある場合は、代金を支払わず、商品の受け取りを拒否しましょう。

不安に感じたり、困ったときは、早めに消費生活センターにご相談ください。

相談は消費生活センターまで　☎８２－７８３０（ナヤミナシ）

休日当番医

期日	内科系		外科系	耳鼻科
６月２日（日）	まりレディスクリニック ７６－７７７５	多々良診療所 ７２－３０６０	富士クリニックペインクリニック ２０－１９７１	板倉耳鼻咽喉科クリニック ８０－４３３３
６月９日（日）	いたくら内科クリニック ７０－４０８０	真中医院 ７２－１６３０	田沼整形外科医院 ８８－９２２３	－
６月16日（日）	かさはら内科医院 ５５－２５３７	神尾内科医院 ７５－１２８８	高木整形外科（午前のみ） ６２－６６１１	川田耳鼻咽喉科医院 ７２－３３１４
６月23日（日）	森下内科医院 ７３－７７７６	藤原医院 ８８－７７９７	井上整形外科医院 ８２－１１３１	－
６月30日（日）	加藤医院 ８９－１０３１	堀越医院 ７３－４１５１	ふじの木整形・内科クリニック ９１－４０７０	－
７月７日（日）	さくま内科胃腸科クリニック ５５－２５００	明和赤ちゃんこどもクリニック※ ８４－１１６６	明和セントラル病院 ８４－１２３４	川村耳鼻咽喉科医院 ７２－１３３７
７月14日（日）	おうら病院 ８８－５６７８	うえの医院 ７２－３３３０	館林市夜間急病診療所 ７３－２３１３	－
７月15日（祝）	はまだクリニック ８０－１１００	横田医院 ７２－０２５５	慶友整形外科病院 ４９－９０００	－
７月21日（日）	たなか医院 ６２－２８８１	こやなぎ小児科※ ８０－２２２０	川島脳神経外科医院 ７５－５５１１	板倉耳鼻咽喉科クリニック ８０－４３３３

歯科

館林邑楽歯科保健医療センター
７３－８８１８
午前９時～正午

◆緊急　公立館林厚生病院（内科系・外科系）　☎７２－３１４０
◆コロナに関すること　館林保健福祉事務所 ☎７２－３２３０（平日午前８時30分～午後５時15分）
群馬県新型コロナウイルス感染症受診相談センター　☎０５７０－０７０－５６７（館林保健福祉事務所の受付時間外）
◆夜間　館林市夜間急病診療所（内科・小児科）午後７時～10時（日・祝、年末年始除く）
☎７３－２３１３（要受診前電話連絡）

●診療時間は、午前９時～午後５時（ただし、耳鼻科の診療時間は、午前９時～午後１時）　●内科系の※は、小児科のみとなります。
●受診前に必ず医療機関に電話で確認してください。　●救急テレホンサービス　☎７３－５６９９：受診可能な病院を紹介しています。

Face フェイス

アマチュア落語家　三松亭小松

心と体を健康に笑って楽しんでほしい

武井祐樹さん

たけい　ゆうき
板倉町在勤

昨年10月には人命救助に寄与した功労を称え、町から感謝状が贈呈されました。
最近では、防災士の資格を取るなど、活躍の場を広げています。

レポーター
広報編集委員
はしもとれいこ
橋本玲子

きっかけは高校時代

町内の金融機関に勤めながら、三松亭小松（さんしょうていこまつ）の名で高座に上がる武井さんが落語を始めたきっかけは、高校１年生の時でした。「君はいい声をしている」と和太鼓部の部長から演奏会で司会を頼まれたことと、そしてその部長が落語をしていたということでした。当時の夢はアナウンサーであり、テレビでアナウンサーが落語をやっていたので、挑戦してみたいと思ったそうです。

落語研究会を立ち上げ

大学入学後、落語好きな仲間を集め、落語研究会を立ち上げました。インターネットで動画を見たり、プロのかたの落語を見に行ったりして独学で学んだそうです。また、楽しくわかりやすくを心掛けながら部員たちへ指導もしていました。学内だけではなく、県内外の介護施設などを訪問し、ボランティアで落語を披露し、笑うことで元気になってもらいたいと思っていたそうです。

落語とラジオ体操の二刀流

現在は落語家としてだけではなく、１級ラジオ体操指導士としても活躍しています。高校１年生から３年間ラジオ体操の講習を受け、資格を取りました。落語家として公演の依頼が増えていくなかで、落語で笑ってもらうだけではなく、ラジオ体操で健康になってくれたら、うれしいと思うようになったそうです。昨年は北部公民館でラジオ体操の歴史や効果的な体の動かし方の講義後、みんなで体操し、心と体をほぐしたうえで、落語を披露しました。

また板倉町での公演も予定しているとのことですので、みなさんも会場で思いっきり笑って楽しんでみてはいかがでしょうか。

これからも武井さんの幅広い活躍を期待しています。